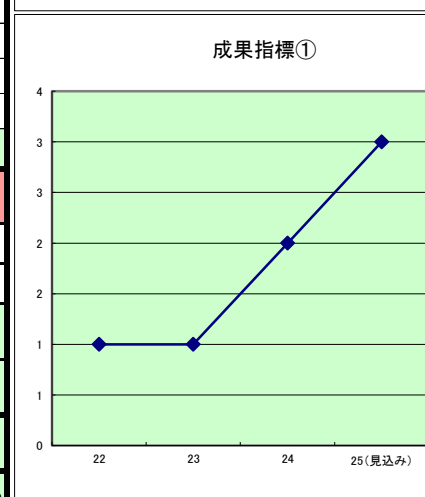
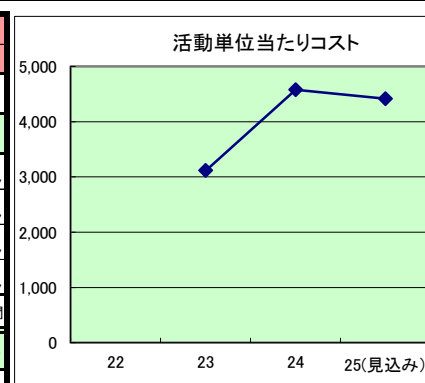


事務事業名		世界文化遺産登録推進事業		会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち	款	2	総務費
	施策(節)	5	市民文化・芸術	項	1	総務管理費
	施策の方向	(1)	歴史的資源を活かしたまちづくりの推進	目	5	企画費
				事業	81	世界文化遺産登録推進
関連する計画等				作成部署	政策推進課（世界文化遺産推進室）	
				(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 3512	
事業の概要(目的・内容)		大阪府・堺市・藤井寺市と共同で、古市古墳群と百舌鳥古墳群を人類全体の歴史遺産として保全を図るため、平成29年の世界文化遺産登録を目指し、取組みを進める。活動の内容としては、百舌鳥・古市古墳群や世界文化遺産登録に向けた取組みを幅広く市民に知っていただくため、シンポジウム等のイベントを実施するとともに、ホームページ等を通じた普及・啓発活動を行っている。また、文化庁、宮内庁と協議を行い、世界文化遺産登録のための推薦書の作成を行っている。 平成23年5月12日に4者で、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議を設立した。				
根拠法令等		文化財保護法・世界遺産条約、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議規約				
事業期間		☐ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☒ 5年未満（平成 23 年度開始）				
事業開始時から の状況変化		平成19年9月26日に百舌鳥・古市古墳群を暫定一覧表記載資産候補として文化庁に提案をし、平成20年9月26日に条件つきで世界遺産暫定一覧表への記載が適当との評価を受けた。その後平成22年11月22日にユネスコ世界遺産暫定一覧表に記載された。				
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他（ ）				
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称（ ） ☐ 民間委託 ☐ その他		委託内容		

区 分		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込み)	
事業費【1】 (千円)			4,174	8,122	13,521	
人件費【2】 (千円)		0	4,392	6,210	7,452	
職員数	正規職員	人	0.61 人	0.90 人	1.08 人	
	再任用職員	人	人	人	人	
	嘱託職員	人	人	人	人	
	臨時職員	人	人	人	人	
超過勤務(参考) (時間)		0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費 (【1】+【2】) 【A】 (千円)		0	8,566	14,332	20,973	
財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0	0	
	府支出金 (千円)	0	0	0	0	
	市債 (千円)	0	0	0	0	
	その他 (使用料・手数料等) (千円)	0	0	0	0	
	一般財源 【B】 (千円)	0	8,566	14,332	20,973	
活動指標 (事業の活動実績) 【C】		単位	22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)
①	世界遺産関連イベント参加者	人		2,750	3,130	4,752
②						
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)			円 3,115 円	円 4,579 円	円 4,414 円	
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】)			円 3,115 円	円 4,579 円	円 4,414 円	
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)			円 73 円	円 123 円	円 181 円	
一般財源【B】の推移 (前年度比)			#DIV/0! %	67.3 %	46.3 %	
※前年度比5%以上変動している要因 (該当する場合のみ ☒)		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減				
		☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減				
※該当項目すべてに ☒		☒ 5. その他 (登録推進本部会議への分担金及び峰塚公園看板設置委託料の増加などによるもの)				



成果指標	指標名	段階	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
① 世界遺産登録までの進捗段階 (式又は説明) ②	①ユネスコ暫定一覧表に記載②推薦書(原案)等作成③熟度の高い推薦書(原案)等の作成④国内推薦資産に選定⑤イコモスによる審査(現地調査)⑥世界遺産委員会で登録決定	目標	1	2	2	3
		実績	1	1	2	100.0%
	目標					
	実績					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
								○		

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	世界文化遺産登録は、文化遺産を人類全体のための世界の遺産として損傷、破壊等の脅威から保護し、保全することを目的に行っているものである。百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録により、市内に現存する古墳の、より一層の保全が図られる。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☐	☐	☒	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	大阪府をはじめ堺市、藤井寺市とともに構成する百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議において、効率的かつ効果的な事業実施を行っている。 古市古墳群においては、藤井寺市とともに古市古墳群世界文化遺産登録推進連絡会議を設置し、日々連携を深めながら、効率的な事業実施を行っている。 また、民間活力の活用については、商工会をはじめ地元企業やNPO団体とも連携を図りながら事業実施に努めている。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
	協働性	民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	地元説明会を通して、古墳群や世界文化遺産登録の取組みについて周知を図った。また各種イベントを通じて、市民の意見聴取に努めている。
		事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	
	有効性・達成度	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	登録の早期実現に向けて、推薦書原案の熟度を高めるため、各関係機関と協議を進めるとともに、様々なイベントを通して、地元の機運醸成に努めている。
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 （概ね現行どおり継続して実施） （実施方法の改善を検討する） （事業規模の縮小を検討する） （廃止・休止を検討する）	
行革本部評価	今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など）	
	百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録の早期実現に向け、市民をはじめ企業や関係団体と連携をより一層深め、機運醸成に努める。また、宮内庁、文化庁をはじめとした関係機関等とも十分協議を重ね、推薦書原案の熟度を高める。	
行革本部評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	
行革本部評価	評価理由・意見	
	今後の事業の発展を期待するものであるが、可能な限り事業費のスリム化に取り組むこと。	